

福岡県立大学に「足と靴の相談室」

福岡県立大学は、「高度な福祉社会の実現に貢献できる人材の育成」を目指した総合福祉系の大学で、特に附属研究所においては、「地域密着型の生涯発達から生活習慣病の予防、高齢者の生きがいづくりの研究」などが進められています。

その附属研究所の生涯福祉研究センターに、このほど「足と靴の相談室」がオープンしました。

生涯福祉研究センターでは、10年にわたる「福祉用具研究会」の活動を通して褥瘡防止ベッドや介護用シャワーなど多様な福祉用具の開発に取り組んでいますが、その活動の一環として、「靴は歩くための道具」という私たちの考えを積極的に受け止め、「歩くための道具である靴は福祉用具」との観点から、私たちを研究会へ招聘して下さったのが4年前のことでした。

それ以後、「足と靴と歩行」についての研究が継続され、2年前には、新たに「足と靴の問題性と福祉拡充に関する総合研究プロジェクト」が立ち上げられ、住民の啓発、技術者の養成、靴の開発、新産業育成、等々の課題で私たちとの協働が進展してきました。

そして、昨年度に行なわれた「足と靴の相談技術」養成

講座の成果を踏まえ、このほど、「足と靴の相談室」が正式にオープンすることになりました。

相談業務を担われるのは、4年前に私たちの話を聞いて下さって以来、一貫して「足と靴」の研究を主導され続けてきた中藤広美先生です。

中藤先生は、保育学が専門で、特に乳幼児、発達障がい児の発達支援を主に研究されており、ご自身の専門の立場から、「足育」をライフワークとして取り組んでいきたい、と張り切っておられます。

これまで、毎週担われている発達障がい児の保護者対象の「ペアレントトレーニング」などの機会に、「子供の足と靴」についての相談を受けたりアドバイスしたりされていましたが、これからは、子供に限らず、広く地域の皆さんに「相談室」として開放し、多くの「足と靴の悩み」に対応されることとなります。

詳細については、生涯福祉研究センターの中藤先生まで、直接ご連絡下さい。

足と靴の相談室・連絡先

福岡県立大学・生涯福祉研究センター(中藤先生)

福岡県田川市大字伊田4395

0947-42-2119

福岡県立大学と共同開発の 多様な靴が生産されます

福岡県立大学生涯福祉研究センターの「足と靴の総合研究プロジェクト」として私たちも参加して進めてきました、「生活習慣病の予防」「高齢者の転倒予防」等の観点からの「歩行具としての靴」の開発が具体化してきました。

前号でお知らせした、日本初のメディカル・シューズの開発に協力して下さっている福岡・久留米の崎村さんのおかげで、プロジェクトが提案した多様な「歩行具としての靴」の開発も急進展しています。

私たちの技術による「歩行具としての靴」の機能を前提にしながら、その上で、日本の住文化ではどうしても避けられない「脱ぎ履きしやすい靴」、糖尿病患者のウォーキングに適した「靴擦れしにくい靴」、摺り足歩きになりがちな高齢者の転倒防止にも役立つ「つま先の上がった靴」等々、・・・

現在生産準備中のものが、秋から順次エルデでもご購入頂ける予定です。

生産準備中の共同開発品の中から・・・

